



# CX835P (基地局) 作業連絡用通信システム

## 取扱説明書

このたびは、作業連絡用通信システム基地局 CX835P をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。お読みになった後は、この取扱説明書を大切に保管してください。お買い上げになった製品に、ご不審な点やお気付きの点がありましたら、なるべく早めにお買い上げになった販売店にお申し付けください。

Printed in Japan 07/2020

54AC851012

## ご使用まえに

「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例

△記号は注意・危険を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は、「感電注意」が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は、「分解禁止」が描かれています。

●記号は使用者の行為を指示することを告げるものです。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

## 安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは必ず保存してください。

## 警告

- 交流電源 100 V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- 当社指定の無線機・スタンドマイク等以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- 万一、異物がこの機器の内部に入った場合は、まず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- 万一、この機器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

- 機器で指定されていないヒューズは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- この機器の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードがこの機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。

## 注意

- この機器が近くのテレビ・電子機器・医療機器等に影響を与えるときは、ご使用にならないでください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずアダプターを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。

## ご使用前の注意

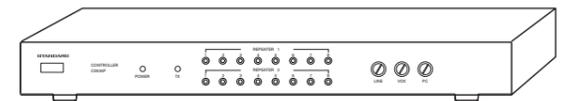
- 本機は、防滴構造になっていません。水がかかる場所や湿度の高い場所ではご使用にならないでください。
- ほこりが多い場所ではご使用にならないでください。

## 特長

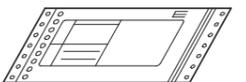
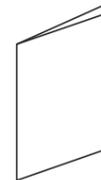
- 本機は、作業連絡用通信システムの親機 (RP835P) に接続し、通話を行います。
- 「通話」とは、本機に接続されたマイクから、親機 (RP835P) を通して、子機 (HX835P) へ音声を送ることです。
- 子機 (HX835P) からの通話および子機 (HX835P) 同士の通話は、本機に接続したスタンドマイク (CSM835P) で聞くことができます。
- 子機 (HX835P) および親機 (RP835P) の使用状態を表示により知ることができます。

## 付属品を確認してください

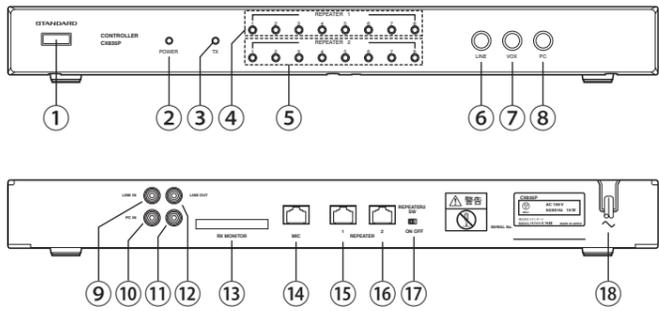
基地局本体 (CX835P) ..... 1 台



取扱説明書 ..... 1 部 保証書 ..... 1 部



## 各部の名称と動作



### ① 電源スイッチ

このスイッチを押すと電源が入ります。もう一度、このスイッチを押すと電源は切れます。

### ② POWER (電源) 表示

電源が入ると、赤色に点灯します。

### ③ TX (送信) 表示

親機 (RP835P) が送信すると、赤色に点灯します。

### ④ REPEATER 1 (リピータ 1 受信) 表示

リピータ 1 が受信した子機番号を緑色に表示します。

### ⑤ REPEATER 2 (リピータ 2 受信) 表示

リピータ 2 が受信した子機番号を緑色に表示します。

### ⑥ LINE (ライン入力音量) ツマミ

LINE IN 端子に接続された機器の音量を調整します。

### ⑦ VOX (感度調整) ツマミ

このツマミを回して送信動作を開始する音声レベルを調整します。  
PC IN 端子に接続されたパソコンからの音声入力により送信動作を行う VOX 機能が働きます。

### ⑧ PC (PC 入力レベル調整)

PC IN 端子に接続されたパソコンからの入力レベルを調整します。

### ⑨ LINE IN (ライン入力) 端子

オーディオ信号を入力する端子です。

### ⑩ PC IN (PC 入力) 端子

パソコンからオーディオ信号を入力する端子です。

### ⑪ (未使用) 端子

通常この端子は使用いたしません。

### ⑫ LINE OUT (ライン出力) 端子

オーディオアンプなどの音声出力機器を接続する端子です。

### ⑬ RX MONITOR 端子

通常この端子は使用いたしません。

### ⑭ MIC (CSM835P 接続) 端子

オプションのスタンドマイク CSM835P を接続する端子です。

### ⑮ REPEATER 1 (RP835P 接続) 端子

親機 (RP835P) を接続する端子です。

### ⑯ REPEATER 2 (RP835P 接続) 端子

2 台目の親機 (RP835P) を接続する端子です。

### ⑰ REPEATER 2 (RP835P 接続設定) スイッチ

2 台目の親機 (RP835P) が接続されているときは、スイッチを ON にあわせませす。2 台目の親機を選択しないとき、スイッチを OFF にあわせませす。  
**注意：このスイッチの設定が合っていないと、誤動作の原因となります。**

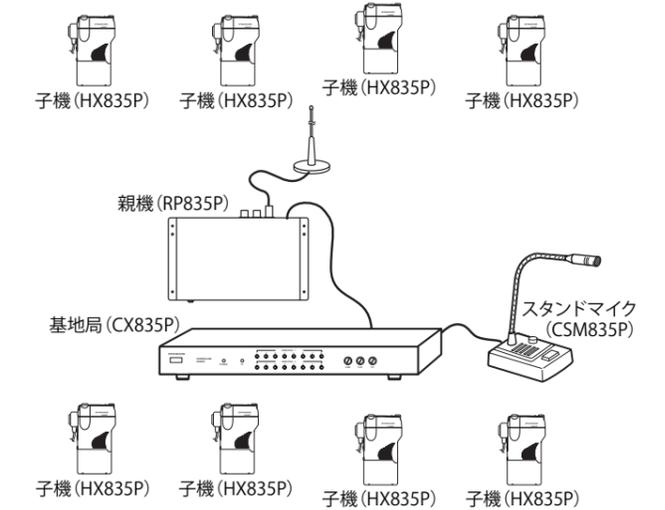
### ⑱ 電源ケーブル

電源ケーブルです。交流 100V のコンセントにつないでください。

## 接続および接続方法

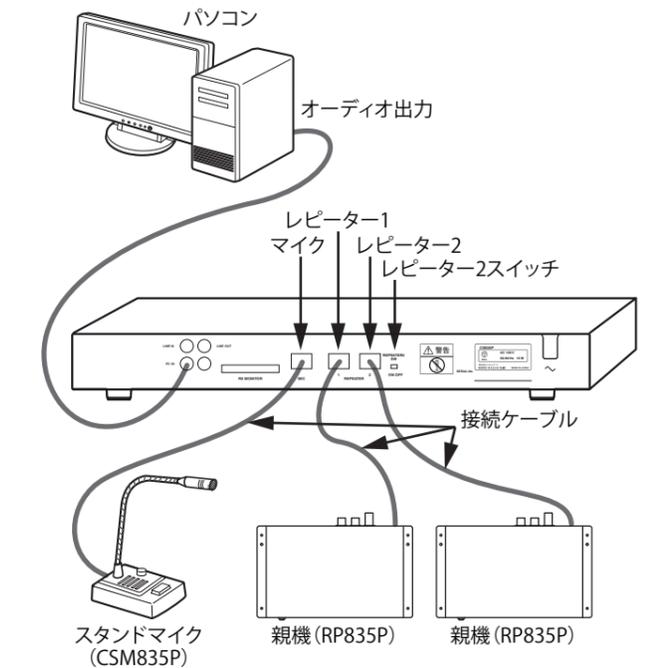
### ■ システム構成

基地局 (CX835P) には親機 (RP835P) が接続できます。  
親機 (RP835P) を接続することで基地局 (CX835P) と子機 (HX835P) 間で通話が出来ます。  
また、基地局 (CX835P) では、子機 (HX835P) の回線使用状況が分かります。



### ■ 各機器の接続

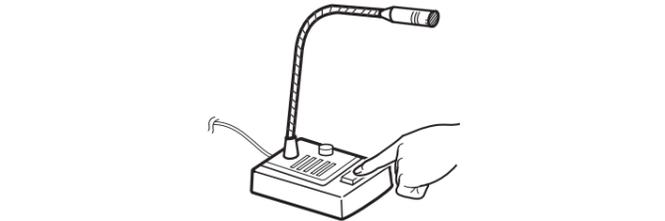
基地局 (CX835P) には親機 (RP835P) が最大で 2 台接続することができます。



※ レピーター 2 を接続するときはレピーター 2 スイッチを ON にしてください。接続しないときは OFF にしておいてください。  
当システム各機器の設置・接続・設定はご購入いただいた販売店、または (株) スタンダードにご相談ください。

## 使用方法

- ① 本体の電源を入れます。電源投入後 9 秒間は親機 (RP835P) が初期設定を行っているため使用できません。  
この時、POWER (電源) 表示のみが赤色に点灯します。
- ② オプションマイクの CSM835P の [PTT] を押しながら、マイクに向かって話します。  
マイクと口元の距離は約 5cm 程度が適当です。  
子機 (HX835P) からの通話は CSM835P に内蔵されているスピーカーから聞こえます。



### アドバイス

- 親機 (RP835P) が連続送信モードになっているときは、本機 (CX835P) の送信表示は点灯したままです。

## 定 格

- ライン入力.....1 Vrms
- ライン入力インピーダンス ..... 47kΩ
- PC 入力 .....1 Vrms
- PC 入力インピーダンス ..... 47kΩ
- ライン出力..... 140 mV
- 定格電圧.....AC 100V
- 寸 法.....421 mm × 44 mm × 190 mm  
(幅×奥行き×高さ)
- 質量.....約 2500g

## 保証・アフターサービスについて

- この商品には、保証書を添付しています。保証書は、「お買い上げ販売店印・保証期間」をご確認のうえ、お受け取りください。
- 保証書は、よくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より一年間です。正常なご使用で、この期間内に故障したときは、お買い上げになった販売店で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
- 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、ご要望により有償修理いたします。
- 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等によるアフターサービスについての不明点は、お買い上げになった販売店にご遠慮なくご相談ください。



正常なご使用状態で万一故障した場合は、ご購入いただいた販売店までご相談ください。

お問い合わせ先  
TEL : 03-5757-1111  
FAX : 03-5757-1112

開発製造：パーテックススタンダード LMR 合同会社  
a Motorola Solutions Company  
URL : <http://standard-radio.jp>

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。